

研修例（２） 研修時間：４０分

・性別役割意識、アンコンシャス・バイアスから、男女平等について考える研修例

時間	研修内容	使用する資料等
5分	1 「様々な表現の仕方・場面」のイラストを見て、気付いたことを話し合う。 2 本日の研修内容が「男女平等教育」であるということを確認する。	・研修資料P2 <参考1> (2) 様々な表現の仕方・場面
10分	3 自分の意識について考える。 ・「性別役割意識」の表を提示し、自分はどのように意識しているかを考える。 4 アンコンシャス・バイアスについて理解する。 ・説明文を読み、アンコンシャス・バイアスについて理解する。	・研修資料P2 <参考2> 性別役割意識 ・研修資料P2 「2 無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）について」説明文
15分	5 男女平等について考える。【話し合い】 ・話し合う内容 「男女の地位を平等にしていくために、日々の生活（学校生活）の中でできることは何か。 ・様々な視点（教師、生徒、保護者、地域など）から考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ○固定化されていそうなイメージの例 ・服装 ・色分け ・名簿での上下 ・役割 など </div>	＊必要に応じて資料を提供できるように、校内研修資料を準備しておくといよ。
10分	6 発表・振り返り ・グループごとに、話し合いで出た内容を発表する。 ・参考資料『男女共同参画の視点から考える表現ガイド』を紹介する。 ・今後の教育活動に生かせるように情報共有し、共通理解を図る。	・出典 『男女共同参画の視点から考える表現ガイド』 （人権・男女共同参画課）